

～埼玉フィルメンバーと仲間たち～  
**室内楽コンサート2013**

2013年4月6日(土)  
\* 彩の国さいたま芸術劇場・音楽ホール \*

〔後援〕さいたま市教育委員会

**ご挨拶**

埼玉フィルハーモニー管弦楽団団長 森岡甫宏

本日は私たちの室内楽コンサートにご来場いただき、誠にありがとうございます。

有志のささやかな集まりから始まったこの室内楽コンサートも、11回目を迎えることとなりました。回数を重ねるごとに、参加チームもバラエティに富み、また各団体アンサンブルも充実し、仲間との信頼関係も深まって、私たちにとっても年に一度の楽しみなコンサートになっています。

今回も弦楽アンサンブルをはじめとして、管楽器や打楽器、ピアノを含めたアンサンブルなど、多彩なプログラムでオーケストラとは違った面白さを感じていただけることと思います。

皆様に楽しく音楽が届けられるように、またオーケストラの演奏会にも足を運びたいと思っていただけるように、心を込めて演奏いたします。

最後になりますが、本日の演奏会の開催にあたりご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。今後ともご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

**プログラム**

**フルート四重奏曲二長調作品98-4より〔ライヒャ〕**

チェコの作曲家ライヒャ（1770～1836）は、ベートーヴェンと同年代の人。ボンの宮廷楽団でフルート奏者を務めた時、ビオラ奏者のベートーヴェンと出会い、生涯にわたる親交を深めました。数多くの曲を作り、1808年にパリに移って、生涯を閉じました。

前々回の室内楽コンサートでこの曲の第1楽章を演奏しましたので、今回は残りの第2、3、4楽章を演奏します。各楽器ともバランスよくメロディが登場して、演奏していても楽しい曲です。

◇ **美女と野獣（フルート四重奏）**

Flute：森岡甫宏 Violin：工藤みち子 Viola：小幡加代子 Cello：富山薫

美女と野獣は埼玉フィルの現団員と元団員で構成され、このコンサートの初回から11年連続で出演しています。練習は月に1回のペースで楽しく続けています。

今回はビオラの五十嵐信一（86歳）がお休み（4月の練習から復帰）して、埼玉フィルの小幡さんに代奏をお願いしました。

## ウイーンはいつもウイーン (シュランメル)

ウイーンでは、その年に取れたワインの新種を「ホイリゲ」と呼びます。その「ホイリゲ」を飲ませる店で演奏されている音楽を「シュランメル音楽」と言うそうです。作曲家のシュランメルは、そのお店のヴァイオリン弾きだったとのこと。彼の作品には、胸に染み入る美しいメロディや、踊り出したくなるようなウキウキする曲、笑い出しそうになるユーモアあふれる曲などがあります。そうした曲のなかの1曲が、この「ウイーンはいつもウイーン」です。聴きやすく楽しめる音楽を、お口直しにどうぞ。

## Canzona Per sonare No.4 (ガブリエリ)

昨年2012年は、ヴェネチアの代表的な作曲家、ジョバンニ・ガブリエリの没後400年にあたる年でした。ガブリエリは、ルネサンスからバロックへ移行する時期にサンマルコ大聖堂で活躍した、作曲家・オルガン奏者です。サンマルコ大聖堂のステレオ効果のある音響特性を活かして、複数の合奏形態による作曲法を完成させています。金管奏者に愛されている、豪華で華麗なガブリエリサウンドをお楽しみください。

### 埼玉フィルプラスアンサンブル (金管五重奏)

Trumpet : 三浦敏正 / 水木由美    Horn : 後藤拓志    Trombone : 寺尾功生  
Tuba : 大塚陽介

本日は、埼玉フィルでチューバをお手伝いいただいている大塚陽介さんとともに、埼玉フィルの金管楽器のメンバーで金管五重奏をお届けいたします。

今回の演奏会のために練習や打ち合わせを進めているなかで、たくさんの演奏したい曲が見つかりました。もっと早く気がつけばよかったと思います。中心となってくれた水木さんの、今後の采配を楽しみにしています。

1曲目に演奏する「ウイーンはいつもウイーン」は、我々のテーマソングとしてあためていきたいと考えています。ウイーンの街角から聞こえてくるような楽しい演奏ができればと思います。あ、でも今日はイタリア・ヴェネチアでした！

## ピアノ五重奏曲 変ホ短調 作品87 (フンメル)

ハイドン、モーツァルト、サリエリに師事し、ベートーヴェンと親交を結んだ、まさにヨーロッパの「古典」の伝統を引き継いだのが、オーストリアのピアニストであり作曲家であったヨハン・ネポムク・フンメルでした。ピアニストだったためか、この曲はピアノのウエイトがだいぶ大きいようです。本日は第1楽章と第4楽章を演奏します。

### このあと呑め鱒 (ピアノ五重奏)

Violin : 小故島敏子    Viola : 小幡加代子    Cello : 長島秀幸  
Contrabass : 川田守昭    Piano : 小野田和子

シューベルトの“鱒”を演奏したくて集まったメンバーですが、結成して10年以上、“鱒”の他に編曲ものやポピラー音楽も楽しんでできました。今回はベートーヴェンと同時代のフンメルの曲に挑戦してみました。

## 八つの小品 作品83より (ブルッフ)

ブルッフ(1833~1920)はブラームスと同時期に活躍したドイツの作曲家で、とくにヴァイオリン協奏曲が有名です。彼の作風は、哀愁を帯びたメロディと、民族的素材を好んで取り入れているところに特徴があります。

この三重奏曲は、72歳という最晩年に作曲され、とりわけきれいなメロディにくわえ、それぞれの楽器がとても効果的に取り扱われています。もともとクラリネット、ビオラ、ピアノのために書かれたものですが、出版社のすすめで、もっと世の中に広まるようにチェロでも演奏できるようにしました。

本日は時間の都合上、4曲を抜粋してお送りします。三つの楽器がお互いに語り合うような絡み合いをお楽しみ下さい。

### トリオ・プリモ (クラリネット三重奏)

Clarinet : 三原孝介    Cello : 山田百合子    Piano : 山路亜佐子

トリオ・プリモは、クラリネット、チェロ、ピアノのアンサンブルです。管楽器、弦楽器、鍵盤楽器、それぞれの音色を生かしつつも、とけあう音楽を目指しています。3人が織りなす歌をお楽しみいただければと思います。

### 六重奏曲 変ホ長調 作品81bより第2・3楽章〔ベートーヴェン〕

この曲は1795年ころの作ですが、実際に演奏されたのは10年以上たってからと言われています。2本のホルンのための協奏曲といえる大変美しい曲ですが、ホルン吹きにとっては難曲です。ほぼ吹きっぱなしで休ませてくれないし、それぞれに難しい節回し（裏返せば、聞かせどころ）がいくつもあります。

そのうえ、当時のホルンは音程を変えることが簡単ではなく（ロータリーバルブがないのでベルの中に入れた右手と唇の加減で音程の上げ下げをします）、音階を吹くのもままならなかったのです。しかし、右手のおかげで音色が柔らかくなり、多くの作曲家が一層ホルンという楽器に興味を持ったのではないのでしょうか。ヨーゼフ・ライヒャ、アントニオ・ロッセティ、ヨーゼフ・ハイドンなどが2本のホルンのために協奏曲を書いています。

ホルン2本とチェロでゆったりと始まる第2楽章、狩の音楽を思わせる明るく軽快な第3楽章。ホルンの比類ない美しさ、弦との楽しい掛け合いを少しでもお伝えできれば幸いです。

#### ◇ アンサンブルダイバース（二つのホルンと弦楽合奏）

Horn：後藤拓志／二宮一敏 Violin：小故島敏子／河合秀樹 Viola：二宮奈緒美  
Cello：海老原あい

さいたまストリングスメンバーの弦楽四重奏と、2本のホルンという珍しい編成の仲間です。この楽器群の組み合わせは本演奏会では初登場ですが、どんな響きになるのでしょうか。あとは聞いてのお楽しみです。

### 小物打楽器のための四つのフォークダンス〔ゴメス／ライフ〕

1. GANKOGUI、2. TACONEO、3. BAIÃO、4. TÀR DANCE、という4つのフォークダンス（民俗舞踊）からなる組曲です。あえてその地域名ここでは紹介しませんが、聴いて感じ取っていただければと思います。普段オーケストラでは使われない民俗打楽器や代替打楽器（大体打楽器）がたくさん出てきますので、どうぞお楽しみに。

#### ◇ パーカッションアンサンブル“SHY-T”（打楽器アンサンブル）

Percussion：鈴木充／橋本純子／山路亜佐子

昨年室内楽コンサートのために結成された、埼玉フィルのメンバーを中心にした打楽器アンサンブルです。一部のメンバーを入れ替えながら、今年は小さな“道具”で、目で見ても楽しんでいただけるような演奏にチャレンジします。

\* 休 憩 \*

### 管弦楽組曲第3番より〔バッハ〕

管弦楽組曲第3番は、バッハが作曲した現在に残る管弦楽組曲4作品中の1曲です。4曲を通じての特徴は、序曲と数曲の舞曲の組み合わせからなっているという点。第3番は全5曲で構成されており、今回はその中から第2曲～第5曲までを演奏します。

第2曲のアリアは、今日知られているバッハ作品のうち最も有名な曲の一つと言えるでしょう。「G線上のアリア」というヴァイオリン演奏用にも編曲され、広く親しまれています。落ち着いた通奏低音の動きの上にヴァイオリンが息の長い美しいメロディを歌います。このメロディは、聞く人すべての心を落ち着かせてくれるような名旋律です。時々、半音的な動きを交え、翳りを見せながら曲は最後まで平静さを保ったまま進んでいきます。ヴァイオリンの旋律だけでなく、それに絡み合うメロディも非常に魅力的です。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

#### ◇ アンサンブル・アルモニコ（管弦楽アンサンブル）

Violin：瀧本恵理／西山恵梨子／中野伶哉／長江三智子／村瀬佳幸／藤原正浩  
Viola：久田桂／武藤剛 Cello：黒川節二／石田真理／山崎知子  
Contrabass：久保田兼士 Oboe：浦原健／川西信吾  
Trumpet：三浦敏正／水木由美 Timpani：鈴木充 Cembalo：小野田和子

最近管楽器とのコラボが続くアルモニコももう8年目。今年はトランペット、オーボエ、ティンパニが加わりました。もちろんチェンバロもありますよ。そんなわけで今年も低弦ごまかせるかな～でもコントラバスには頑張ってもらおうと♪ 今夜のビールがおいしく飲めるように楽しんで演奏します。だからアラ探しはしないでね。

### ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 K.478 より〔モーツァルト〕

モーツァルトのピアノ四重奏曲は、指揮者のアンドレ・プレヴィンとN響メンバーの演奏などでも取り上げられ、ご存知の方も多いと思います。印象的なユニゾンの始まり、いかにもモーツァルトらしいスケールや転調、どこかで聴いたことのあるロンドのフレーズも発見できることと思います。

本日は第1楽章、第3楽章より抜粋して演奏します。第3楽章ではちょこっとヴァイオリンが遊びます。マイッタナ風のモーツァルト、ごゆっくりとお楽しみください。

#### ◇ アサコとマイッタナ (ピアノ四重奏)

Violin : 河合秀樹 Viola : 小幡加代子 Cello : 山田百合子 Piano : 山路亜佐子

今年も恒例?アサコとマイッタナです。今回は定番中の定番ともいえるモーツァルトのピアノカルテットにも挑戦! あーでもない、こーでもない、でもこうしたい! とお互いの考えを出し合いながら毎回楽しく練習しています。思考錯誤の結果や音楽の遊び、楽しみを皆様を感じ取っていただければ幸いです。

### フルート3重奏のための思い出は銀の笛〔三浦真理〕

フルートアンサンブルでは、とてもポピュラーで人気もあり、一度は挑戦したい曲のひとつです。1曲目は「エメラルドグリーン」の風」、2曲目は「深紅のルビー」、3曲目は「ブラックインベンション」(譜面は8分音符ですが、今回はスイングに挑戦します)、4曲目は「紫の薔薇」、5曲目は「ブルー・パステル」という表題がそれぞれついています。

#### ◇ さいたまフルートアンサンブル (フルート3重奏)

Flute : 岡田章宏 / 亀岬陽子 / 武藤麗子

埼玉フィルのフルートパートメンバーによって結成され、この室内楽コンサートは初回から参加し、アンサンブルの向上やパートの親睦をはかっています。今回は3名での参加です。

メンバーが使っている楽器の材質は、銀、金、木(グラナディア)と様々、メーカーもまちまちです。3名の個性とともに、どのような響き、音楽になるのか、各曲の色彩をイメージしながら楽しんでいただければ幸いです。

### 弦楽のための交響曲第10番 口短調〔メンデルスゾーン〕

メンデルスゾーン14歳のときの作品です。モーツァルト同様、早熟ですね! 交響曲とはいえ全体に簡潔で、色々変化はありますが全曲は一つの楽章で完結です。

冒頭は荘厳でありながら弦楽アンサンブル独特の清楚さが漂う教会での祈りの序奏です。祈りが終わると、潑刺とした軽快な音楽が始まります。途中では緩やかな美しいメロディーとお祈りの気分が交錯し、ピオラのソロも顔を出す楽しい弦楽合奏が進みます。最後はさらにスピードアップして、疾風が駆け抜けるように終わります。

裕福な家庭でお育ちの少年メンデルスゾーンの、影のない才気あふれる潑刺とした音楽を軽やかなお気分でお楽しみください。

#### ◇ さいたまストリングス (弦楽アンサンブル)

Violin : (1st) 小故島敏子 / 河合秀樹 / 川田晶子 (2nd) 宮地文子 / 藤原正浩 / 森田貴代美 / Viola : (1st) 二宮奈緒美 (2nd) 長谷川理絵 / 岡田正美

Cello : 海老原あい / 長島秀幸 Contrabass : 川田守昭 / 二宮一敏

弦楽アンサンブルを楽しみたいと結成して、12年以上が経ちました。クラシック音楽のみならず、ポピュラーやジャズ系の音楽まで幅広く楽しんでできました。

前回と前々回の室内楽コンサートでは、管楽器も入ったモーツァルトの交響曲を演奏しましたが、今回は少年メンデルスゾーンの弦楽のための交響曲を演奏します。

今回、演奏メンバーからは育休中(イクメンもいます)などで5人が抜けていますが、そのぶんやや平均年齢を上げたメンバーで、爽快で若々しい演奏をしたいと思います。



### ペッパー警部

皆さんよくご存知のピンクレディーのヒット曲。立ち上がって歌いましょう!

#### ◇ 出演者有志による合奏